



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「在米メキシカン受難」①

一九二九年、アメリカに始まった世界大恐慌から、太平洋戦争開始の一九四一年まで、アメリカ在住のメキシカン百万人が、国外追放されるという悲劇に見舞われた。国内に失業者が溢れたので、マイノリティの彼らは「スケープ・ゴート」(身代わり)にさせられてしまったのである。彼らの六十％はアメリカ市民であったが、裁判もされず、ただ一方的に国外追放された。彼らこそは元々アメリカに住んでいたはずなのに！ 太平洋戦争中、十二万人もの日系人が強制収容所に容れられた。その当時の出来事を彷彿とさせる悲劇ではないか。

同様なことが一八二八年、アメリカ・インディアンに起こった。ジョージア州で金鉱が見つかる、早速そこに住んでいたチエロキー(美しい)・インディアンたちの追放が始まった。彼らはすでに立派な国を形成しており、議会もあり、裁判所の組織まであったのに、不毛の地と呼ばれたミシシッピ・西岸のオクラホマ州に強制移住させられた。寒さと飢えと病気で移住者の四分の一の四〇〇〇人が犠牲者となり、たどった一三〇〇キロは「涙の道」と言われた。しかも、半世紀後には、そのオクラホマさえ、再度白人が侵入して来たのである。

一九二九年十月の大恐慌によって株価が急落し、アメリカ経済はパニックに陥った。それに伴い次々と工場や関連企業が閉鎖し、二十五％もの失業率に達した。飢餓が始まり、パンを求める行列が延々と続くようになってゆく。そのような中、失業した人々は隣国メキシコから大挙、移住して仕事に就いていた彼らに注視するようになる。そして声を挙げた。「このような経済危機の中では本当のアメリカ人へのみ仕事を与えられるべきで、メキシカンを追い出すべきだ」と。メキシコは彼らの故郷だから最善の地ではないかと、うそぶく。その考えがアメリカ全体を動かし、ついには連邦議会までもがそれを後押しする。

メキシコからの移民が禁じられ、そればかりか市民権を持つメキシカンのみならず、その血縁関係者までが国外追放されることになった。その頃のアメリカ経済は破産状態で、とても彼らに社会保障費の援助を支払える余裕はなく、さらに彼らメキシカンの中にはアメリカに忠誠を誓うよりもメキシコへの忠誠を選んだ人々が多かったこともあり、追放に拍車がかかったのである。そこでメキシカンに住んでいた地区では全米どこでも、自由立ち退きという美名の下に武装した警官たちによって掃討作戦が行なわれた。ロサンゼルス地区では5万人もの人々が追放された。多くは声も発せず、黙々と従ったのである。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

